

2024年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月15日

上場会社名 株式会社ブランジスタ 上場取引所 東
 コード番号 6176 URL <https://www.brangista.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩本 恵了
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 石原 卓 TEL 03-6415-1183
 四半期報告書提出予定日 2024年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（動画配信）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年9月期第2四半期の連結業績（2023年10月1日～2024年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	2,353	2.5	477	64.5	474	63.4	305	53.2
2023年9月期第2四半期	2,295	40.4	290	95.2	290	95.5	199	93.9

（注）包括利益 2024年9月期第2四半期 308百万円（52.9%） 2023年9月期第2四半期 201百万円（94.2%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第2四半期	22.08	—
2023年9月期第2四半期	14.31	—

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第2四半期	3,586	2,281	62.0
2023年9月期	3,884	2,249	56.5

（参考）自己資本 2024年9月期第2四半期 2,223百万円 2023年9月期 2,195百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年9月期	—	0.00	—	—	—
2024年9月期（予想）	—	—	—	—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2024年9月期の配当予想につきましては、現在未定であります。

3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,800	5.3	800	32.4	800	32.9	520	△10.3	37.62

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期2Q	14,575,300株	2023年9月期	14,575,300株
② 期末自己株式数	2024年9月期2Q	1,054,988株	2023年9月期	654,988株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期2Q	13,821,479株	2023年9月期2Q	13,920,312株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境が改善する中で、各種政策の効果もあり、緩やかな回復が続くことが期待される中、世界的な金融引締めに伴う影響や海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっていることや、物価上昇、情勢不安、金融資本市場の変動等の影響に注意する必要があります。さらに、令和6年能登半島地震の経済に与える影響についても留意する必要があります。依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、「プロモーション支援事業」「メディア事業」「ソリューション事業」の業容拡大に努めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間においては、売上高・営業利益・営業利益率が上半期過去最高となり、営業利益が前年同四半期1.6倍に増益となりました。「アクセルジャパン」が好調に推移し、業績拡大を牽引しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高2,353百万円（前年同四半期比2.5%増）、営業利益477百万円（同64.5%増）、経常利益474百万円（同63.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益305百万円（同53.2%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

[プロモーション支援事業]

プロモーション支援事業では、タレントを起用した企業プロモーション支援プロジェクト「アクセルジャパン」を提供しております。

当第2四半期連結累計期間においては、「アクセルジャパン」の新規売上及び更新売上が共に増加し好調に推移いたしました。2022年10月の事業開始以来、毎四半期増収を継続し、業績拡大を続けております。

以上の結果、プロモーション支援事業は、売上高785百万円（前年同四半期比75.1%増）、セグメント利益293百万円（同98.8%増）となりました。

[メディア事業]

メディア事業では、無料で読める電子雑誌を制作・発行し、クライアント企業へ当社電子雑誌への広告掲載や、電子雑誌の制作受託といったサービスを提供しております。

当第2四半期連結累計期間においては、電子雑誌「旅色」の宿泊施設や飲食店などの広告売上が増加いたしました。地方自治体とのタイアップ広告売上が減少したため売上高が減少しておりますが、制作原価や広告宣伝費等が減少したことにより利益率が向上し、増益となりました。

以上の結果、メディア事業は、売上高1,055百万円（前年同四半期比12.6%減）、セグメント利益149百万円（同7.8%増）となりました。

[ソリューション事業]

ソリューション事業では、ECサポートやウェブサイト制作・運営等の各種ソリューションサービスを提供しております。

当第2四半期連結累計期間においては、売上高が減少したものの、業務効率化による販売費及び一般管理費の減少により、利益率が向上し、増益となりました。

以上の結果、ソリューション事業は、売上高475百万円（前年同四半期比5.2%減）、セグメント利益114百万円（同41.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は3,586百万円となり、前連結会計年度末に比べて298百万円の減少となりました。当第2四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりです。

(流動資産)

流動資産は2,842百万円となり、前連結会計年度末に比べて211百万円の減少となりました。これは主に、売掛金が247百万円増加した一方で、自己株式の取得や長期借入金の返済などにより現金及び預金が472百万円減少したことによるものであります。

(固定資産)

固定資産は744百万円となり、前連結会計年度末に比べて86百万円の減少となりました。これは主に、繰延税金資産の減少により投資その他の資産が102百万円減少したことによるものであります。

(流動負債)

流動負債は1,095百万円となり、前連結会計年度末に比べて199百万円の減少となりました。これは主に、賞与引当金が64百万円、短期借入金が30百万円、その他の負債が78百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

固定負債は210百万円となり、前連結会計年度末に比べて129百万円の減少となりました。これは、長期借入金の返済を行ったことによるものであります。

(純資産)

純資産合計は2,281百万円となり、前連結会計年度末に比べて31百万円の増加となりました。これは主に、自己株式の取得による277百万円の減少があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が305百万円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高は1,384百万円となり、前連結会計年度末に比べて472百万円の減少となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は4百万円（前年同四半期は451百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益474百万円があったものの、売上債権の増加による減少247百万円があったことや、法人税等及び消費税等の納付144百万円があったことに加え、賞与引当金の減少などがあったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は38百万円（前年同四半期は22百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出32百万円があったことに加え、敷金の差入による支出6百万円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は438百万円（前年同四半期は506百万円の収入）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出159百万円があったことに加え、自己株式の取得による支出278百万円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年11月14日の「2023年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な不確定要素により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,856,549	1,384,270
売掛金	1,150,150	1,397,715
前払費用	83,205	111,620
その他	34,082	22,221
貸倒引当金	△70,461	△73,820
流動資産合計	3,053,526	2,842,008
固定資産		
有形固定資産	23,831	32,036
無形固定資産		
その他	60,847	69,066
無形固定資産合計	60,847	69,066
投資その他の資産		
繰延税金資産	697,381	589,295
その他	49,308	54,442
投資その他の資産合計	746,690	643,737
固定資産合計	831,369	744,840
資産合計	3,884,896	3,586,848
負債の部		
流動負債		
買掛金	141,715	131,068
短期借入金	408,755	378,755
未払金	167,245	162,379
未払法人税等	75,611	65,747
契約負債	217,999	219,223
預り金	26,428	24,096
賞与引当金	112,826	48,731
その他	144,113	65,524
流動負債合計	1,294,697	1,095,526
固定負債		
長期借入金	340,200	210,266
固定負債合計	340,200	210,266
負債合計	1,634,897	1,305,792
純資産の部		
株主資本		
資本金	621,052	621,052
資本剰余金	1,021,448	1,021,448
利益剰余金	1,042,497	1,347,701
自己株式	△493,361	△771,073
株主資本合計	2,191,637	2,219,128
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	4,158	4,501
その他の包括利益累計額合計	4,158	4,501
非支配株主持分	54,203	57,425
純資産合計	2,249,999	2,281,055
負債純資産合計	3,884,896	3,586,848

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
売上高	2,295,207	2,353,258
売上原価	688,522	595,723
売上総利益	1,606,684	1,757,535
販売費及び一般管理費	1,316,639	1,280,397
営業利益	290,044	477,137
営業外収益		
受取利息	12	21
受取給付金	308	—
還付金収入	734	—
為替差益	262	—
雑収入	52	152
営業外収益合計	1,370	173
営業外費用		
支払利息	1,134	1,914
自己株式取得費用	—	833
為替差損	—	244
営業外費用合計	1,134	2,992
経常利益	290,281	474,318
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	290,281	474,318
法人税、住民税及び事業税	29,922	57,807
法人税等調整額	57,569	108,086
法人税等合計	87,492	165,893
四半期純利益	202,789	308,425
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,569	3,221
親会社株主に帰属する四半期純利益	199,220	305,203

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	202,789	308,425
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△858	342
その他の包括利益合計	△858	342
四半期包括利益	201,930	308,768
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	198,361	305,546
非支配株主に係る四半期包括利益	3,569	3,221

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	290,281	474,318
減価償却費及びその他の償却費	14,933	16,938
賞与引当金の増減額 (△は減少)	58,955	△64,095
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	7,883	8,972
固定資産除却損	0	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△313,246	△247,495
前払費用の増減額 (△は増加)	△32,507	△28,415
仕入債務の増減額 (△は減少)	69,073	△10,779
契約負債の増減額 (△は減少)	108,244	1,223
未払金の増減額 (△は減少)	55,125	△5,027
預り金の増減額 (△は減少)	△34,499	△2,331
未払又は未収消費税等の増減額	154,814	△78,612
その他	45,608	7,183
小計	424,668	71,879
利息の受取額	12	21
利息の支払額	△1,134	△1,914
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	27,519	△65,852
営業活動によるキャッシュ・フロー	451,066	4,133
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,810	△14,014
無形固定資産の取得による支出	△10,196	△18,240
敷金及び保証金の差入による支出	△4,636	△6,044
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,644	△38,298
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	600,000	—
長期借入金の返済による支出	△143,333	△159,933
自己株式の取得による支出	—	△278,545
連結子会社設立に伴う非支配株主からの払込による収入	50,000	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	506,666	△438,478
現金及び現金同等物に係る換算差額	△774	365
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	934,314	△472,278
現金及び現金同等物の期首残高	956,713	1,856,549
現金及び現金同等物の期末残高	1,891,027	1,384,270

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年2月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式400,000株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が277,712千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が771,073千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2022年10月1日 至 2023年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	プロモーション 支援事業	メディア事業	ソリューション 事業	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	448,537	1,207,328	501,699	2,157,566	137,641	2,295,207	—	2,295,207
外部顧客への売上高	448,537	1,207,328	501,699	2,157,566	137,641	2,295,207	—	2,295,207
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	39,659	39,659	△39,659	—
計	448,537	1,207,328	501,699	2,157,566	177,300	2,334,866	△39,659	2,295,207
セグメント利益	147,451	138,868	80,797	367,117	33,544	400,662	△110,617	290,044

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、(株)ブランジスタメディアにおけるメディア事業以外の各種受託事業、(株)CrowdLabにおけるキュレーション事業、台湾子会社博設技股份有限公司における海外での制作受託事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△110,617千円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 顧客との契約から生じる収益以外の収益の額については重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	プロモーション 支援事業	メディア事業	ソリューション 事業	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	785,379	1,055,548	475,375	2,316,304	36,954	2,353,258	—	2,353,258
外部顧客への売上高	785,379	1,055,548	475,375	2,316,304	36,954	2,353,258	—	2,353,258
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	34,934	34,934	△34,934	—
計	785,379	1,055,548	475,375	2,316,304	71,889	2,388,193	△34,934	2,353,258
セグメント利益	293,182	149,732	114,115	557,030	23,436	580,467	△103,329	477,137

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、(株)ブランジスタメディアにおけるメディア事業以外の各種受託事業、(株)CrowdLabにおけるキュレーション事業、台湾子会社博設技股份有限公司における海外での制作受託事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△103,329千円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 顧客との契約から生じる収益以外の収益の額については重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。